

# 壁を越える

大学院横断教育の展開

## 京都大学 卓越 ワークショップ 2024

WISE Program Doctoral Program for  
World-leading Innovative & Smart Education

卓越大学院プログラムや博士課程教育リーディングプログラムといった学位付記型プログラムに加え、新たに開設した大学院横断教育コースに参加する学生や教職員が一堂に会する本ワークショップには二つの目的があります。一つは、本学における大学院横断教育を広く周知し、より良いものとするための意見交換の場とすることです。もう一つは、自ら取り組んでいる研究や活動に関する発表を通じ、学生に異分野の研究者との交流の重要性を体感してもらい、今後の修学意欲の向上と一層の成長に資する機会とすることです。

本ワークショップの開催により、京都大学における大学院横断教育の重要性がより広く認識されるとともに、学生の大きな成長と各プログラムの深化につながることを期待しています。

日時

2024年 12月25日[水]  
●13時～17時30分●

場所

京都大学国際科学イノベーション棟5階

対象 卓越大学院プログラム履修生、関係教職員  
博士課程教育リーディングプログラム履修生、関係教職員  
大学院横断教育コース履修生、関係教職員  
京都大学大学院教育支援機構SPRINGプログラム履修生、関係教職員  
京都大学の学生、教職員  
卓越大学院プログラム連携先機関 関係者

主催 京都大学大学院教育支援機構

一般申込みは  
こちらから

(プログラム履修生、  
関係教職員以外)



## プログラム

時間	シンポジウムホール						
12:30	受付						
13:00	<b>開会挨拶</b> 京都大学総長 湊 長博						
13:10	<b>京都大学における大学院教育の展望</b> 京都大学理事・副学長(教育、学生、入試担当) 國府 寛司						
13:25	<b>京都大学における大学院横断教育</b> 京都大学副学長(学位プログラム担当) 杉野目 道紀						
13:40	<b>修了生事例紹介</b> <table><tbody><tr><td>① 飛田 美和 (「先端光・電子デバイス創成学」2023年度修了) 横河電機株式会社 マーケティング本部 イノベーションセンター センシング研究開発部 研究員</td><td>② 山脇 優輝 (「メディカルイノベーション大学院プログラム」2022年度修了) オスモメディカル株式会社 代表取締役</td></tr></tbody></table>	① 飛田 美和 (「先端光・電子デバイス創成学」2023年度修了) 横河電機株式会社 マーケティング本部 イノベーションセンター センシング研究開発部 研究員	② 山脇 優輝 (「メディカルイノベーション大学院プログラム」2022年度修了) オスモメディカル株式会社 代表取締役				
① 飛田 美和 (「先端光・電子デバイス創成学」2023年度修了) 横河電機株式会社 マーケティング本部 イノベーションセンター センシング研究開発部 研究員	② 山脇 優輝 (「メディカルイノベーション大学院プログラム」2022年度修了) オスモメディカル株式会社 代表取締役						
14:20	<b>学生研究発表</b> <table><tbody><tr><td>先端光・電子デバイス創成学 芳井 崇悟 (工学研究科 電子工学専攻 D3)</td><td>京都大学大学院思修館 野村 紀帆 (総合生存学館 総合生存学専攻 一貫制博士課程D3)</td></tr><tr><td>メディカルイノベーション大学院プログラム 角南 理己 (医学研究科 医科学専攻 D2)</td><td>デザイン学大学院連携プログラム 西田 菜都子 (情報学研究科 情報学専攻 社会情報学コース D2)</td></tr><tr><td>社会を駆動するプラットフォーム学卓越大学院プログラム 角間 海七渡 (情報学研究科 社会情報学専攻 D3)</td><td>霊長類学・ワイルドライフサイエンス・リーディング大学院 鈴木 百夏 (理学研究科 生物科学専攻 M2)</td></tr></tbody></table>	先端光・電子デバイス創成学 芳井 崇悟 (工学研究科 電子工学専攻 D3)	京都大学大学院思修館 野村 紀帆 (総合生存学館 総合生存学専攻 一貫制博士課程D3)	メディカルイノベーション大学院プログラム 角南 理己 (医学研究科 医科学専攻 D2)	デザイン学大学院連携プログラム 西田 菜都子 (情報学研究科 情報学専攻 社会情報学コース D2)	社会を駆動するプラットフォーム学卓越大学院プログラム 角間 海七渡 (情報学研究科 社会情報学専攻 D3)	霊長類学・ワイルドライフサイエンス・リーディング大学院 鈴木 百夏 (理学研究科 生物科学専攻 M2)
先端光・電子デバイス創成学 芳井 崇悟 (工学研究科 電子工学専攻 D3)	京都大学大学院思修館 野村 紀帆 (総合生存学館 総合生存学専攻 一貫制博士課程D3)						
メディカルイノベーション大学院プログラム 角南 理己 (医学研究科 医科学専攻 D2)	デザイン学大学院連携プログラム 西田 菜都子 (情報学研究科 情報学専攻 社会情報学コース D2)						
社会を駆動するプラットフォーム学卓越大学院プログラム 角間 海七渡 (情報学研究科 社会情報学専攻 D3)	霊長類学・ワイルドライフサイエンス・リーディング大学院 鈴木 百夏 (理学研究科 生物科学専攻 M2)						
15:20	休憩						
	<b>ポスターセッション</b> 会場: ホワイエ						
15:30	ポスターセッションI: 奇数番号						
16:30	ポスターセッションII: 偶数番号						
17:30	<b>閉会挨拶</b>						

## 卓越大学院プログラム

各大学が自身の強みを核に、これまでの大学院改革の成果を生かし、国内外の大学・研究機関・民間企業等と組織的な連携を行いつつ、世界最高水準の教育力・研究力を結集した5年一貫の博士課程学位プログラムを構築することで、あらゆるセクターを牽引する卓越した博士人材を育成するとともに、人材育成・交流及び新たな共同研究の創出が持続的に展開される卓越した拠点を形成する取組を推進する事業です。



京都大学卓越大学院プログラム  
Innovation of Advanced Photonic and Electronic Devices  
先端光・電子デバイス創成学

### 大変革期を開拓する人材育成を目指して

「物理限界への挑戦と情報・省エネルギー社会への展開」を共通理念として先端光・電子デバイス及び関連分野を牽引できる国際的リーダーを育成します。



京都大学  
メディカル  
イノベーション大学院  
プログラム

### 次代を担うメディカルイノベーター人材を育成

基礎研究から成果の社会実装までカバーする先進的な産学連携の教育研究体制を構築し、次代を担うメディカルイノベーター人材を育成します。



プラットフォーム学卓越大学院



Kyoto University School of Platforms

### 社会を駆動する基盤構築のための新学術

「プラットフォーム学」の知識と、高度かつ独創的な基盤技術に関する研究力を取得できる教育プログラムを提供し、世界を牽引するプラットフォーム構築者を育成します。



## 博士課程教育リーディングプログラム

優秀な学生を俯瞰力と独創力を備え広く産学官にわたりグローバルに活躍するリーダーへと導くため、国内外の第一級の教員・学生を結集し、産・学・官の参画を得つつ、専門分野の枠を超えて博士課程前期・後期一貫した世界に通用する質の保証された学位プログラムを構築・展開する大学院教育の抜本的改革を支援し、最高学府に相応しい大学院の形成を推進する事業です。



### 充実した健康長寿社会を築く 総合医療開発リーダー育成プログラム

人類未曾有の超高齢社会に対応した総合医療システムを創出する人材を育成する。



### 京都大学大学院思修館

地球社会などにおける今日的な問題を理解して、自ら課題を設定し、その解決への営みを通じてグローバルリーダーとなる人材を育成する。



### デザイン学大学院連携プログラム

産学官連携、国際連携、大学間連携による新しいリーダー育成の枠組み。



### グローバル生存学 大学院連携プログラム

従来の専門分野を超え、持続可能かつ生存可能な人類社会、生態系及び地球系の構築に貢献する人材を養成する。



### 霊長類学・ワイルドライフサイエンス リーディング大学院

霊長類学の蓄積を活かし、学問と実践をつなぐグローバルリーダーを育成する。



## 大学院横断教育コース

「大学院横断教育コース」は、リーディングおよび卓越大学院プログラムでの蓄積を全学的に展開するために新たに設置するもので、学生が自らの所属部局に関わらず、学びたいことや関心に基づいて受講することが可能で、全学的な質保証のもと、修了証明が発行されることを特徴とする新しい大学院教育の仕組みです。



### ◎2023年4月開講

グローバル生存学コース  
産学協同教育コース  
教育能力向上コース

### ◎2024年4月開講

デザイン学コース  
数学・数理科学イノベーション  
人材育成強化コース

